



平成21年5月22日
国土交通省河川局

【記者発表関係機関】

東北地方整備局、関東地方整備局、北陸地方整備局、
中部地方整備局、近畿地方整備局、中国地方整備局、
四国地方整備局、九州地方整備局、北海道開発局、
沖縄総合事務局等

平成21年度 地域と連携した川づくりに係る事業の 新たな登録・認定等について

国土交通省は、平成21年度から新たに創設した「かわまちづくり支援制度」の、地域と連携した川づくりに係る計画について、認定を行います。

国土交通省河川局では、地域の個性やニーズに対応した治水事業の一層の展開を図るため、にぎわいのある河畔空間の創出を目指す市町村等において、ソフト・ハード両面から、まちづくりと一体となった河川整備を推進するため、平成21年度から新たに「かわまちづくり支援制度」を創設し、平成21年5月22日付けで67件の計画について認定を行います。

今後、認定を受けた計画においては、住民・市町村等と河川管理者で一体となって策定された計画に基づき、まちづくりと一体となった河畔空間の創出や良好な河畔空間創出のための重点的な事業実施等を行うこととなります。

平成21年5月22日付けで認定される計画の概要については、別紙のとおりです。

【問い合わせ先】

国土交通省河川局 03-5253-8111（代表）

<総括>

河川計画課 河川計画調整室 課長補佐 舟橋 弥生（内線35-372）
03-5253-8445（直通）

<かわまちづくり支援制度>

河川環境課 流域治水室 課長補佐 古市 秀徳（内線35-445）
03-5253-8447（直通）

○認定箇所一覧

都道府県名	申請主体	水系名	河川名	計画名	備考
北海道	旭川市	石狩川	石狩川	旭川市かわまちづくり	認定
北海道	ひらとりちょう 平取町	さるかわ 沙流川	沙流川	平取町かわまちづくり	認定
北海道	小樽市	かつないがわ 勝納川	勝納川	天神地区外かわまちづくり	認定
北海道	浦幌町	十勝川	旧オベトン川	浦幌町市街地地区かわまちづくり	認定
北海道	ななえちちょう 七飯町	折戸川	大沼	大沼公園広場地区かわまちづくり	認定
青森県	弘前市	岩木川	土淵川	弘前地区かわまちづくり	認定
岩手県	盛岡市	北上川	北上川 中津川	盛岡地区かわまちづくり	認定
宮城県	とめし 登米市	北上川	北上川	ときなみ 鶯波地区かわまちづくり	認定
秋田県	秋田市	雄物川	雄物川	秋田地区かわまちづくり	認定
秋田県	大仙市	雄物川	雄物川、玉川、丸 子川、横手川	大曲地区かわまちづくり	認定
山形県	朝日町	最上川	最上川	朝日地区かわまちづくり	認定
山形県	長井市	最上川	最上川	長井地区かわまちづくり	認定
福島県	福島市	阿武隈川	荒川	ふくしま荒川地区かわまちづくり	認定
福島県	湯川村 あいづばんげまち 会津坂下町	阿賀野川	阿賀川	佐野目地区かわまちづくり	認定
茨城県	筑西市	利根川	小貝川	筑西市かわまちづくり	認定
茨城県	取手市	利根川	小貝川 利根川	取手市かわまちづくり	認定
茨城県	行方市	利根川	常陸利根川 (霞ヶ浦)	天王崎・沖洲地区かわまちづくり	認定
茨城県	水戸市	那珂川	桜川	水戸地区かわまちづくり	認定
茨城県	東海村	久慈川	久慈川	東海地区かわまちづくり	認定
栃木県	真岡市	利根川	鬼怒川	真岡市かわまちづくり	認定
栃木県	さくら市	利根川	鬼怒川	さくら市かわまちづくり	認定
群馬県	高崎市	利根川	烏川	高松地区かわまちづくり	認定
群馬県 埼玉県	千代田町 熊谷市	利根川	利根川	利根大堰上流地区かわまちづくり	認定
埼玉県	北本市	荒川	荒川	北本高尾地区かわまちづくり	認定
埼玉県	越谷市	利根川	綾瀬川、元荒川	越谷市地区かわまちづくり	認定
千葉県	香取市	利根川	利根川、小野川	佐原地区かわまちづくり	認定

都道府県名	申請主体	水系名	河川名	計画名	備考
千葉県	流山市	利根川	江戸川、坂川、富士川、利根運河 今上落	流山市地区かわまちづくり	認定
千葉県	松戸市	利根川	江戸川、坂川、富士川、真間川	松戸市地区かわまちづくり	認定
茨城県 千葉県	利根川舟運・地域づくり協議会	利根川	利根川、手賀沼、印旛沼、霞ヶ浦	利根川舟運・地域かわまちづくり	認定
東京都	東京都	荒川	荒川下流	江戸川区かわまちづくり	認定
		荒川	荒川下流	北区かわまちづくり	認定
		荒川	荒川下流	足立区かわまちづくり	認定
		多摩川	多摩川	大田区かわまちづくり	認定
		荒川	日本橋川	日本橋川かわまちづくり	認定
		古川	渋谷川	渋谷川・古川かわまちづくり	認定
		利根川	中川	中川下流かわまちづくり	認定
		荒川 利根川	隅田川、新河岸川、旧中川、新中川、新芝川、呑川	防災船着場整備によるかわまちづくり	認定
東京都	東京都多摩市	多摩川	こったがわ 乞田川 大栗川	乞田川・大栗川かわまちづくり	認定
神奈川県	平塚市	相模川	相模川	平塚市かわまちづくり	認定
神奈川県	寒川町	相模川	相模川	寒川町かわまちづくり	認定
神奈川県	川崎市	多摩川	多摩川	川崎市かわまちづくり	認定
山梨県	増穂町	富士川	富士川	増穂地区かわまちづくり	認定
長野県	長野市	信濃川	千曲川	長沼・小布施地区かわまちづくり	認定
長野県	伊那市	天竜川	天竜川	下新田・伊那地区かわまちづくり	認定
新潟県	関川村	荒川	荒川	高瀬・湯沢地区かわまちづくり	認定
新潟県	新潟市	信濃川 阿賀野川	通船川 阿賀野川	新潟市かわまちづくり	認定
新潟県	長岡市	信濃川	信濃川	蓮湯地区かわまちづくり	認定
富山県	となみし 砺波市	庄川	庄川	雄神地区かわまちづくり	認定
石川県	金沢市	さいかわ 犀川 大野川	犀川 浅野川	金沢地区かわまちづくり	認定
岐阜県	多治見市	庄内川	土岐川	多治見地区かわまちづくり	認定

都道府県名	申請主体	水系名	河川名	計画名	備考
岐阜県	下呂市	木曾川	飛騨川	飛騨川下呂地区かわまちづくり	認定
静岡県	磐田市	天竜川	天竜川	天竜川下流左岸地区かわまちづくり	認定
静岡県	静岡市	安倍川	安倍川	牛妻地区かわまちづくり	認定
愛知県	一宮市	木曾川	木曾川	一宮北部地区かわまちづくり	認定
愛知県	清須市	庄内川	庄内川	清須地区かわまちづくり	認定
三重県	伊勢市	宮川	宮川・勢田川	伊勢地区かわまちづくり	認定
滋賀県	大津市	淀川	瀬田川	瀬田川かわまちづくり	認定
大阪府	大阪市	淀川	道頓堀川、旧淀川 (大川、堂島川、 安治川)、神崎川 、城北川	大阪市かわまちづくり	認定
大阪府	枚方市	淀川	天野川、穂谷川	枚方市かわまちづくり	認定
大阪府	寝屋川市	淀川	寝屋川	寝屋川市かわまちづくり	認定
兵庫県	<small>しろうし</small> 宍粟市	揖保川	揖保川	今宿・中広瀬地区かわまちづくり	認定
和歌山県	新宮市	新宮川	熊野川 市田川	新宮地区かわまちづくり	認定
和歌山県	橋本市	紀の川	紀の川	橋本地区かわまちづくり	認定
島根県	<small>おおなんちよう</small> 邑南町	江の川	<small>いすわがわ</small> 出羽川	出羽川かわまちづくり	認定
広島県	広島市	太田川	旧太田川 元安川 京橋川 <small>えんこうがわ</small> 猿猴川	旧太田川・元安川地区及び京橋川・猿猴 川地区かわまちづくり	認定
広島県	安芸太田町	太田川	太田川	とごうちかわまちづくり	認定
徳島県	北島町	吉野川	今切川	今切川かわまちづくり	認定
徳島県	阿南市	那賀川	桑野川	桑野川かわまちづくり	認定
徳島県	徳島市	吉野川	新町川 <small>すけとうがわ</small> 助任川	内町・新町地区かわまちづくり	認定
愛媛県	大洲市	肱川	肱川	肱川かわまちづくり	認定
福岡県	福岡市	<small>なかがわ</small> 那珂川	那珂川 <small>やくいんしんかわ</small> 薬院新川 博多川	那珂川都心部地区かわまちづくり	認定
熊本県	<small>くまむら</small> 球磨村	<small>くまがわ</small> 球磨川	球磨川	<small>そそぎ</small> 淋地区かわまちづくり	認定
熊本県	<small>やまがし</small> 山鹿市	菊池川	菊池川	山鹿地区かわまちづくり	認定
沖縄県	那覇市	<small>あさとがわ</small> 安里川	<small>くもしがわ</small> 久茂地川	旭橋地区かわまちづくり	認定

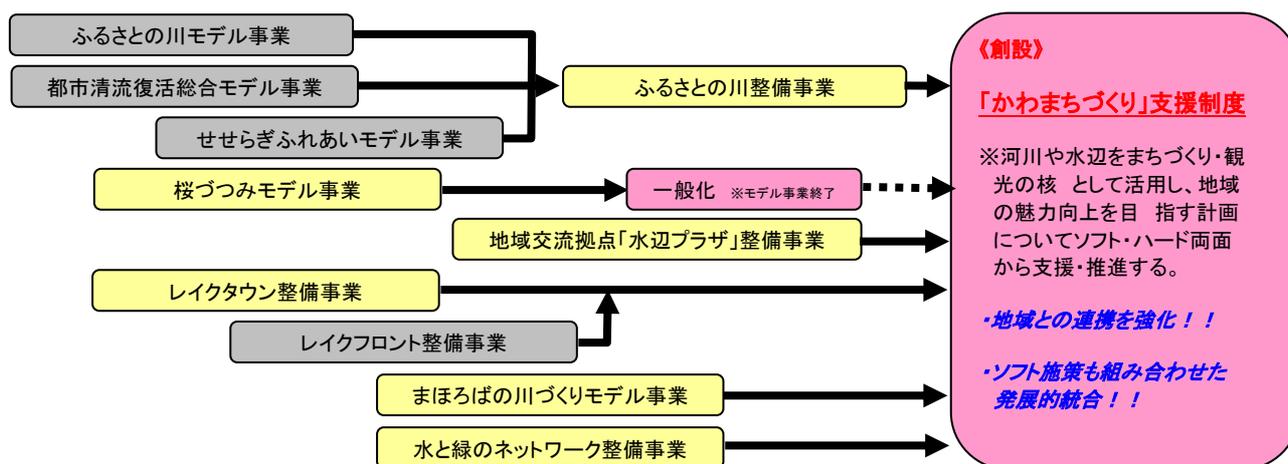
【かわまちづくり支援制度の概要とポイント】

「ふるさとの川整備事業」や「桜つつみモデル事業」等の多種多様な河川事業（モデル事業）については、昭和60年代から創設されはじめ各時代の情勢に応じた事業をモデル事業として認定し、事業を重点的に支援してきました。しかし、モデル事業の制度化から一定期間が経過したことから制度を点検することが必要となりました。

そこで「ふるさとの川整備事業」「桜つつみモデル事業」「地域交流拠点水辺プラザ整備事業」「レイクタウン整備事業」「まほろばの川づくりモデル事業」「水と緑のネットワーク整備事業」を統合し、新たに「かわまちづくり支援制度」を創設します。

本プロジェクトでは、地域の景観、歴史、文化及び観光という「資源」や地域の創意としての「知恵」を活かし、地方公共団体や地元住民との連携の下で立案された実現性の高い河川や水辺の整備・利用を行うものです。

<河川モデル事業の変遷>



【個別事業の概要】

都道府県名	申請主体	水系名	河川名	計画名	計画の概要
北海道	旭川市	石狩川	石狩川	旭川市かわまちづくり	旭川市では美術館、野外彫刻など、市街地中心部の既存の文化芸術的資源に着目し、観光都市としての魅力を高めるまちづくりを推進することとしている。旭川市のかわまちづくりでは、石狩川など河川空間を利用して文化芸術的資源のネットワーク化を図るとともに民間事業者と連携して河川空間利用時の利便性向上を図り、河川空間を活用した観光都市の機能を高める。
北海道	平取町	沙流川	沙流川	平取町かわまちづくり	平取町ではアイヌ文化の保存・継承活動を通じてふるさとの歴史や文化を愛する心を育む、文化の薫り高いまちづくりを推進している。平取町のかわまちづくりでは、現在実施中のイオル再生事業（アイヌの伝統的生活空間の再生事業）に合わせ、新たに沙流川地区において、かつてアイヌの人々が水辺で行っていた植栽の場を創出するとともに沙流川を動線としたフットパスの機能を高め、水辺を拠点とした文化の薫り高いまちづくりを促進する。
北海道	小樽市	勝納川	勝納川	天神地区外かわまちづくり	小樽市では、南小樽地区にある勝納川を都市計画マスタープランにおいて、「周辺の環境に配慮しながら、河川の緑化や親水性の高い空間整備を図る（緑の骨格軸）」として位置付けている。勝納川では、これまでの散策路整備等により、日常的な散策、年間を通した市民等によるイベントに利用されており、さらに住民による定期的な清掃活動により、良好な環境を保ち親しまれてきた。上流には平成 20 年に土木遺産に認定された奥沢水源地があり、北海道新幹線の新駅も建設予定である。今後、下流域の市街地と上流域の新駅や奥沢水源地を散策路整備等により結び、周辺地域のより一層のにぎわい・活力を高める。

都道府県名	申請主体	水系名	河川名	計画名	計画の概要
北海道	浦幌町	十勝川	旧オベトン川	浦幌町市街地地区かわまちづくり	浦幌町では、都市計画マスタープランにおいて、旧オベトン川の河川整備について「歩行空間の創出」、「緑のネットワークの形成」、「自然との親しみ」の3つの整備方針を設定している。旧オベトン川の周辺には町立診療所や図書館、学校があり、現在でも通学や散策等に利用されている。また、毎年、町民により清掃活動が実施されるなど、良好な環境を保ち親しまれてきた。旧オベトン川は浦幌町のまちづくりの要となる存在であり、散策路整備等により、周辺の施設をつなぐことにより、住民の生活環境の向上を図るとともに、町の活性化を推進する。
北海道	七飯町	折戸川	大沼	大沼公園広場地区かわまちづくり	七飯町では、「自然との共生による活力ある地域づくりめざして」を基本コンセプトに「大沼地域活性化ビジョン」を策定した。大沼は、大沼国定公園の中心で年間を通じ多くの方々にご利用されており、町や民間NPO等では、ボランティア活動により大沼の水質改善や湖岸の美化に取り組んでいる。しかし、まちづくりのうえで重要な地域であるが、湖岸及び小島の浸食等により良好な景観が損なわれており、軍川の河口においては、土砂の堆積により水深が浅くなり、湖上遊覧に支障をきたしている。このため、景観などに配慮した護岸整備や、軍川の河道整正等を行うことで、環境保全に寄与するとともに、大沼活性化ビジョンの支援を行う。
青森県	弘前市	岩木川	土淵川	弘前地区かわまちづくり	土淵川の徒橋下流 1,060m 区間においては、親水空間の整備が行われ、定期的な清掃活動や地元団体によるボランティア活動等により良好な環境を保ち親しまれてきたところであるが、土手町商店街を流れるその上流区間については、買い物客等が川に親しめるような状況ではないことから、弘前地区かわまちづくりとして新たに徒橋上流 1,120m 区間において、低水路工、遊歩道工の整備等、平成 20 年 7 月に認定された「弘前市中心市街地活性化基本計画」におけるまちづくりと一体となった整備を行う。

都道府県名	申請主体	水系名	河川名	計画名	計画の概要
岩手県	盛岡市	北上川	北上川 中津川	盛岡地区かわまちづくり	盛岡地区では、盛岡市の計画において観光の重要な資源と位置付けられている北上川、中津川と城下町としての歴史性を活かしたまちづくりを一体的に進めている。また、これまで水辺プラザなど親水空間の整備が行われ、市街地の中の水辺拠点として親しまれてきた。新たに北上川・中津川において、市が進めている「歩いて楽しむまちづくり」と連携し、散策路やイベント広場等の整備を行う。
宮城県	登米市	北上川	北上川	鴫波地区かわまちづくり	鴫波地区では、登米市の「都市計画マスタープラン」等に基づき、これまで親水空間の整備が行われ、清掃活動やイベントの開催など、沿川住民と一体となった活用がなされ、親しまれてきた。当地区は舟運や河川改修、歴史的土木構造物など、川の歴史にまつわる資源が豊富に存在している。新たに北上川において、市が実施する公園整備や市道整備と一体となって、川の歴史的背景を活かした水辺整備を行う。
秋田県	秋田市	雄物川	雄物川	秋田地区かわまちづくり	秋田地区では、秋田市の計画等に基づき、これまで水辺の広場や河川公園、船着場などの親水空間が整備され、地域に親しまれてきた。平成19年からは、民産学官の連携による懇談会やワークショップを開催し、地域活性化と賑わい創出を検討するなかで各種イベント活動も実施されている。新たに雄物川において、市の「市街地活性化計画」に合わせ、水辺の交流拠点（船着場等）や散策路等の整備を行う。
秋田県	大仙市	雄物川	雄物川、玉川、丸子川、横手川	大曲地区かわまちづくり	大曲地区では、大仙市の「都市計画マスタープラン」等に基づき、これまで雄物川、丸子川等で親水空間の整備が行われている。大仙市は、舟運時代の川港から発展するとともに、雄物川河畔での「全国花火競技大会」、カヌー・クルージング体験などが行われており、川との関わりが深い。新たにかわとまちを散策路で結びネットワーク化を図ることで、舟運の歴史、花火等の特徴を活かした水辺整備を行う。
山形県	朝日町	最上川	最上川	朝日地区かわまちづくり	朝日地区は、朝日町の「朝日町総合発展計画」等に基づき、これまで最上川でカヌー利用を推進する水辺プラザの整備が行われ、カヌー競技会や地元活動団体による学習活動・清掃活動等で親しまれてきた。新たに町の発展計画に合わせ、雄大で美しい景観を有する最上川を介して町内に点在する観光資源、史跡等を結ぶ散策路等のまちと一体となった整備を行う。

都道府県名	申請主体	水系名	河川名	計画名	計画の概要
山形県	長井市	最上川	最上川	長井地区かわまちづくり	長井地区では、長井市の「長井市総合計画基本構想」等に基づき、これまで最上川においてフットパスの整備が行われ、イベントや散策等に活用されてきた。新たに最上川において、市が実施する舟運等をテーマとした景観形成事業等に合わせ、散策路や船着場等のまちと一体となった整備を行う。
福島県	福島市	阿武隈川	荒川	ふくしま荒川地区かわまちづくり	ふくしま荒川地区では、福島市の「都市マスタープラン」等に基づき、これまで阿武隈川や荒川で、親水空間の整備が行われ、イベントやキャンプ、芋煮会など広く市民等に利用されるとともに、各河川において定期的な清掃活動等が行われてきた。新たに荒川において、中心市街地と水辺のネットワーク化を図る散策路等の整備を行う。
福島県	湯川村 会津坂下町	阿賀野川	阿賀川	佐野目地区かわまちづくり	佐野目地区は会津地方の中央部に位置し、阿賀川と国道49号が交差する宮古橋付近にあたるため、地元自治体では地域交流の拠点と位置づけ、道の駅等の交流拠点等の整備を検討している。また、防災ステーション整備も検討されており、阿賀川の良い河川空間を利用し水辺の魅力を引き出すことで市民との交流および地域活性化の拠点として、多目的なレクリエーション、カヌー等、親しむ場所としての整備を行う。
茨城県	筑西市	利根川	小貝川	筑西市かわまちづくり	筑西市かわまちづくり箇所は、筑西市建設計画において緑地景観ゾーン、筑西市総合計画において緑・文化・交流ゾーンとして位置づけられている。これまでに、母子島・小貝川水辺プラザ整備において、散策路等の整備が行われ、地元自治体等において桜の植樹が行われてきた。また、当該箇所には、日本ウォーキング協会が認定したイヤラウンドコースも設定されており、ウォーキングや散策に利用されている。今後、多目的広場や緩傾斜法面の整備をまちと一体となって行う。
茨城県	取手市	利根川	小貝川 利根川	取手市かわまちづくり	取手市かわまちづくり箇所は、第五次取手市総合計画で水と緑を育み環境に優しいまちづくりが記載され、市民の憩いの場となる緑地の充実及び親しみのある水辺空間の形成に努めることとされている。小貝川の堤防上はサイクリングロードとしても利用されており、周辺の市町村からも多くの人々が利用している。また、市民団体においてもサイクリングを通じた周辺市町村との広域的連携を目指したまちづくりの計画もある。今後、ポケットパークや案内板などの整備をまちと一体となって行う。

都道府県名	申請主体	水系名	河川名	計画名	計画の概要
茨城県	行方市	利根川	常陸利根川 (霞ヶ浦)	天王崎・沖洲地区かわまちづくり	天王崎地区は、昭和40年代前半まで湖水浴場として市民に親しまれていた区域であり、現在はヨット等の水上レクリエーション利用が盛んで水辺レジャーの拠点となっている。かつての湖水浴場の再生を図るため砂浜を整備し、合わせて水辺レクリエーションの活性化及び周辺市町村と連携した舟運の復活を図るため棧橋の整備を行う。また、沖洲地区は、かつての砂浜の再生が望まれており、地域の環境美化活動の意識も高い地域であることから、地域活動や環境学習の拠点として砂浜や駐輪場の整備を行う。
茨城県	水戸市	那珂川	桜川	水戸地区かわまちづくり	水戸地区かわまちづくりは、「水戸市第5次総合計画 水戸元気プラン」の中で「豊かな自然と歴史を漫遊する観光交流の推進」を図ることとしている。水戸市のシンボルである偕楽園・千波湖・桜川を中心とした市街地のエリアにおいて、観光交流拠点形成を行い、連続する桜川の親水拠点整備、散策路整備を実施する。当該地区は、桜川清流ルネッサンスⅡにおいて水環境改善にも取り組んでいる。
茨城県	東海村	久慈川	久慈川	東海地区かわまちづくり	東海地区かわまちづくりは、平成13年作成の「東海第4次総合計画（とうかい21世紀プラン）前期基本計画」及び「同後期計画」（計画目標年次：平成23年度）並びに平成15年作成の「東海村都市計画マスタープラン」の中で、久慈川河川敷公園の整備促進が計画されている。とくに、地区別まちづくりの方針において、石神地区まちづくり方針および白方地区まちづくり方針で、貴重な緑地空間として重要な位置を占めている。
栃木県	真岡市	利根川	鬼怒川	真岡市かわまちづくり	真岡市かわまちづくり箇所は、旧真岡市と二宮町の合併により策定された新市基本計画で河川の総合的環境整備の推進が記載され、清流ゾーン、スポーツ交流ゾーンに位置付けられている。これまでに、二宮・鬼怒川水辺プラザ整備において、親水空間の整備が行われ、河川敷には運動公園があり、また、周辺には野外活動センターも整備されてきた。今後、高水敷に整備される多目的広場と周辺施設を連携させる散策路等の整備をまちと一体となって行う。

都道府県名	申請主体	水系名	河川名	計画名	計画の概要
栃木県	さくら市	利根川	鬼怒川	さくら市かわまちづくり	さくら市かわまちづくり箇所は、さくら市建設計画に基づき、河川敷を利用した、ウォーキングや散策が出来るように計画している。これまでに、桜つつみの整備や高水敷での公園整備等が行われてきた。また、周辺には勝山城址公園やさくら市ミュージアム等の多くの施設があり、これらの施設を連続させる散策路等の整備をまちと一体となっていく。
群馬県	高崎市	利根川	烏川	高松地区かわまちづくり	高松地区かわまちづくりは、高崎市の烏川緑地計画及び高崎市緑の基本計画の拠点として、国道17号高松立体事業に伴う切り回し道路の跡地に公園整備することにより、地元住人と国道17号の利用による広域的な利用者の交流が生まれ、地域活性化に貢献でき、利用者を水際に導くことで、都市と近接した貴重な水辺空間として利用され、身近な水辺として河川にふれあい、水辺環境に関心を持つことで水辺環境への啓蒙に役立つことから、直轄の親水護岸の整備と一体となった公園整備を実施する。
群馬県 埼玉県	千代田町 熊谷市	利根川	利根川	利根大堰上流地区かわまちづくり	千代田町のなかさと公園(スーパー堤防)を拠点の一つとし、現在利用されている「赤岩(葛和田)渡船場、広大な高水敷の都六県水防演習跡地、利根大堰周辺」の地域特性を活かすと共に、対岸の利根川総合運動公園(熊谷市)のサッカー場、グライダー滑空場等との一体化した地域交流の拠点づくりを目指して、休憩所整備、遊歩道整備等を行う。
埼玉県	北本市	荒川	荒川	北本高尾地区かわまちづくり	北本高尾地区周辺には、野外活動センター、高尾さくら公園及び高尾宮岡ふるさとの緑の景観地(トラスト保全第8号地)が整備されており、四季を通じて多くの市民に親しまれている。新たに荒川河川敷に人々が荒川に親しめる場、自然観察や環境学習の場などを備えた水辺拠点を整備し、良好な水辺空間の形成を図ることにより、集人能力が高い周辺施設と連携し地域活性化に寄与する。
埼玉県	越谷市	利根川	綾瀬川、元荒川	越谷市地区かわまちづくり	越谷市地区かわまちづくりは、越谷市の基本方針「第3次越谷市総合振興計画」を基に、「越谷市都市計画マスタープラン」、「越谷市緑の基本計画」、「越谷市環境管理計画」に位置づけられている地域整備構想の一部として、水郷越谷の復活と創造として、親水空間の整備が行われ、清掃活動や、花の植栽など地元団体による活動等により良好な環境を保ち親しまれてきた。新たに、綾瀬川蒲生地先などにおいて、川沿いにおける緑道の整備や花の植栽など、市民の憩いの場所の整備を行う。

都道府県名	申請主体	水系名	河川名	計画名	計画の概要
千葉県	香取市	利根川	利根川、小野川	佐原地区かわまちづくり	香取市のかわまちづくりは、これまで中心市街地活性化基本計画やふるさと川づくり事業計画に基づき利根川や小野川で親水空間の整備が行なわれ、地元のNPOや市民団体などにより定期的に清掃やイベント等が展開されてきた。利根川の岸辺に新たに栈橋や水辺利用者の休憩施設、利便施設等を含めた広域交流拠点整備に合わせ、小野川には、「だし」や散策路等を整備する。
千葉県	流山市	利根川	江戸川、坂川、富士川、利根運河 今上落	流山市地区かわまちづくり	流山市地区かわまちづくりは、流山市の基本方針「流山市基本構想」を基に、「流山市都市計画マスタープラン」、「流山市緑の基本計画」、「流山市環境基本計画」に位置付けられている地域整備構想の一部として、水質の改善、公園・水辺のネットワークの形成、ウォーキング大会等イベントを通じた市民意識の醸成等を、各関係者協働のもと行ってきた。新たに、地域と連携したイベントの開催、江戸川河川敷の利用推進、坂川（宮園地区）における水辺の拠点整備、江戸川（木地区）におけるユニバーサル坂路整備等を行い、「人間の価値」、「自然の価値」、「文化の価値」のあるまちづくりを推進していく。
千葉県	松戸市	利根川	江戸川、坂川、富士川、真間川	松戸市地区かわまちづくり	松戸市地区かわまちづくりは、松戸市の基本方針「松戸市総合計画」を基に、「松戸市都市計画マスタープラン」、「松戸市緑の基本計画」に位置付けられている地域整備構想の一部として、河川沿いの緑化、水質の浄化、公園や歩行者空間の整備などを進め、地域や様々な拠点を相互に結ぶ水と緑と歴史のネットワークを各関係者、市民参画のもと形成してきた。新たに、ふれあい松戸川を含むネットワークの形成、坂川（横須賀地区）における水辺の拠点整備、江戸川（矢切地区）におけるユニバーサル坂路整備等を行い、「いきいきした市民の舞台」、「ここちよい地域の舞台」、「風格ある都市の舞台」のあるまちづくりを推進していく。

都道府県名	申請主体	水系名	河川名	計画名	計画の概要
茨城県 千葉県	利根川舟運・地域づくり協議会	利根川	利根川、手賀沼、印旛沼、霞ヶ浦	利根川舟運・地域かわまちづくり	利根川下流域の銚子から取手までの約85kmの区間は、流域に霞ヶ浦や印旛沼、手賀沼といった湖沼を含めて広大な流域空間を有している。沿川には利根川舟運・地域づくり協議会は、多くの貴重な歴史的資源や観光資源、自然景観、農林漁業の営みによる「食」の資源など、豊富な地域資源を有している。「利根川舟運・地域づくり協議会」は利根川下流域を中心に地域連携事業を展開しているが、「舟運連携とリレーイベント」「空間を活用したイベント」等の事業を行う上で必要となる船着場、航路整備及び周辺整備を行う。
東京都	東京都	荒川	荒川下流	江戸川区かわまちづくり	江戸川区まちづくりは、「江戸川区街づくり基本プラン（都市マスタープラン）」があり、「豊かな水と緑の快適環境都市」を目指すことが位置づけられ、これまで河川において整備が行われている。平井地区においては、河川敷の親水性を高め高規格堤防整備や平井駅付近区画街路整備等と一体となった整備を行う。
		荒川	荒川下流	北区かわまちづくり	北区地区まちづくりは、「北区リバーフロント活性化構想」に基づき荒川河川敷においても整備が行われている。 また、それ以外に、本地域は「志茂地区住宅市街地総合整備事業（密集市街地整備型）」の対象区域であり、志茂橋は災害時の通行確保及び利用促進の両面から北区と一体となった整備を行う。
		荒川	荒川下流	足立区かわまちづくり	足立区地区まちづくりは、『足立区都市計画マスタープラン』都市構造の方針において、河川は水と緑のゾーンに位置付けられている。『足立区緑の基本計画』の「豊かな緑をつくる」、「大切なみどりを守る」、「協働で緑を育む」の3つの基本方針に基づき、それぞれの取り組みをしめしている。今回荒川河川敷左岸対象区間は、緑化重点地区の「公園整備推進・摂動部緑化推進型」、「公園整備誘導・宅地内緑化湯道型」区域であり、側帯整備等まちと一体となった整備を行う。また、荒川右岸新田地区においては、スーパー堤防事業及び住宅市街地総合整備事業と合わせて、荒川の自然と町のつながりを結びつけ、親水性を活かした魅力的な水辺環境空間の創出を目指し、一体となった整備を行う。

都道府県名	申請主体	水系名	河川名	計画名	計画の概要
東京都	東京都	多摩川	多摩川	大田区かわまちづくり	大田区多摩川沿川は、豊かな自然環境が残る河口干潟をはじめとし、大きく広がる河川敷には運動施設や散策路が整備され、スポーツや憩いの場として様々な利用がなされている。大田区かわまちづくりは、「都市計画マスタープラン」を基に、区のシンボルとなっている多摩川の河川敷を水と緑の拠点としていくと共に、田園調布から羽田をつなぐ水と緑のネットワークづくりを行っていく。また、スーパー堤防の整備に伴い、開放的な緑地空間を創出し、多摩川沿いの優れた自然環境を区民に身近なものとして整備することによって、うるおいとやすらぎのあるまちの形成を図る。
		荒川	日本橋川	日本橋川かわまちづくり	日本橋川は、江戸、明治と続くわが国の歴史と文化の中心舞台として、今に残る歴史建造物や文化遺産、伝統・文化行事等を受け継いでいく首都・東京を象徴する河川である。日本橋川においては、土地区画整理事業と一体となった親水空間整備を行うことで、日本橋川を眺望し、川の趣きを感じる空間を創出して、河岸の賑わいを取り戻し、魅力ある水辺を再生する。また、景観計画及び史跡としての保存管理計画と連携し、水質の向上と都心の高いアクセス性を活かした魅力ある水辺とするため水質浄化を図る。
		古川	渋谷川	渋谷川・古川かわまちづくり	渋谷川・古川は、かつて「春の小川」と称され、浮世絵にも描かれるなど多様な歴史性を有する河川であった。しかし、道路を中心とした市街化により、現在は河川に背を向けた形でビル・住宅が建ち、市街地の裏側を流れる河川となっている。そこで、貴重な川沿いのオープンスペースである恵比寿東公園の再整備と一体となった水辺整備を行い、川が都市の賑わいの中心となるような魅力ある水辺を創造し、まちの価値を高めていく。
		利根川	中川	中川下流かわまちづくり	中川の管理用通路は、江戸川区の「健康の道」として位置づけられるとともに、サイクリングロードとしても活用されており、朝夕や休日を中心に、都民の健康づくりの場となっている。そこで、水と緑に囲まれた都市空間を再生するとともに、美しい都市景観を創出するため、コンクリートに覆われた築堤を緑化する整備を行う。

都道府県名	申請主体	水系名	河川名	計画名	計画の概要
東京都	東京都	荒川 利根川	隅田川、新河岸川、 旧中川、新中川、 新芝川、呑川	防災船着場整備によるかわま ちづくり	平成7年1月に発生した「阪神・淡路大震災」を契機に、災害時における河川舟運の有効性が注目されている。東京の東部低地対は約250km ² の面積におよそ300万人の人々が生活する人口密集地であり、災害時の危険性が高い地区である。そこで、隅田川及び江東内部河川等において、地元の地域防災計画に基づき、災害により分断された陸上交通網の補完や物資輸送等の道路負担を軽減するため、防災上の水上ネットワークとして防災船着場を整備することにより災害に強いまちづくりの推進を図る。
東京都	東京都 多摩市	多摩川	乞田川 大栗川	乞田川・大栗川かわまちづく り	乞田川、大栗川流域では、古くから桜の名所となっている箇所が多くある。平成20年2月には、地元商工会議所が中心となり「多摩桜プロジェクト」を立ち上げるなど、地元の人々が桜を増やす取り組みを行っている。また、管理用通路は散策路やジョギングコースとして、多くの人々に利用されている。そこで、コンクリートに覆われた護岸の緑化、桜の植樹を行うことで、水と緑に囲まれた都市空間を再生するとともに、人々を楽しませる景観を創出していく。
神奈川県	平塚市	相模川	相模川	平塚市かわまちづくり	相模川は、平塚市の市街地を流れ、グラウンドや水辺の楽校・花畑等が整備されており、多くの人に利用されている（年間利用者数約138万人）。当地区について、散策路などの整備を進めることで、花やみどり、水辺のふれあいを楽しみ、交流やレクリエーションを満喫できる場を形成していく。
神奈川県	寒川町	相模川	相模川	寒川町かわまちづくり	相模川左岸下流部に位置している当該箇所は、寒川町の「新川と文化のまちづくり」における、「田端スポーツ公園」の再整備として事業を行う”まちづくり計画”の中で、「自然と文化と人のネットワークづくり」の『核』として位置付けをおこなっており、併せて周辺の散策路整備等と連携した河川利用空間の整備をおこなう。多目的広場やレクリエーション広場等を町が整備し、国が親水広場等の整備をおこなうことで、水辺プラザとして賑わいのある水辺の創出を図る。

都道府県名	申請主体	水系名	河川名	計画名	計画の概要
神奈川県	川崎市	多摩川	多摩川	川崎市かわまちづくり	川崎市のまちづくりでは、多摩川を骨格を形成する「多摩川軸」として位置づけ、多くの市民が楽しみ憩える環境の創出をめざして、多摩川や二ヶ領用水などの貴重な水辺空間を活かしたまちづくりを行ってきている。かわまちづくりでは、主要交通機関のアクセスポイントから至近に位置し、人が集まりやすく、施設資源や環境資源も豊富に存在し、今後の事業波及効果が期待される地域と、堤内地の各種遊歩道と岸辺の散策路との連携などを図ることにより、まちづくりと一体となった回遊性の高い魅力ある水辺空間の形成を図る。
山梨県	増穂町	富士川	富士川	増穂地区かわまちづくり	増穂地区の東部地区では中部横断道増穂インターチェンジの整備に伴い道の駅、河川防災ステーション等周辺整備が進められている。これに合わせ富士川の自然を活かした拠点を整備し、周辺施設と一体的・複合的な交流点として、地域の活性化を進める。
長野県	長野市	信濃川	千曲川	長沼・小布施地区かわまちづくり	長沼・小布施地区かわまちづくりは、長野市の都市計画マスタープランに基づき、これまで千曲川の長沼地区において河川沿いの緑の軸の充実として整備が行われ、定期的な市民協働型の維持管理により普段から地域の方々に利用されている。新たに千曲川の小布施地区において、JR 豊野駅・小布施総合運動公園を起点としたサイクリングコース整備や近隣の大型商業施設開発に伴う道路整備に合わせ、遊歩道等のまちと一体となった整備を行う。
長野県	伊那市	天竜川	天竜川	下新田・伊那地区かわまちづくり	下新田地区及び伊那地区かわまちづくりは、伊那市の都市計画マスタープランに基づき、これまで天竜川や三峰川で親水空間の整備が行われ、定期的な清掃活動や地元団体によるボランティア活動等により良好な環境を保ち親しまれてきた。新たに天竜川及び三峰川において、まちと一体となった散策路等の整備を行う。

都道府県名	申請主体	水系名	河川名	計画名	計画の概要
新潟県	関川村	荒川	荒川	高瀬・湯沢地区かわまちづくり	これまで荒川は流域住民・地元団体による清掃活動等のボランティア活動等により良好な環境を保ち、H15～17年に一級河川における水質日本一となり、「平成の名水百選」に選ばれ親しまれてきた。関川村の「自立に向けた第5次関川村総合計画」に基づき、新たに荒川の高瀬・湯沢地区において、関川村のまちづくり及び周辺自治体との広域観光圏計画に合わせ、散策路等のまちづくりと一体となった整備を行う。
新潟県	新潟市	信濃川 阿賀野川	通船川 阿賀野川	新潟市かわまちづくり	新潟市では、まちづくりの指針である「新・新潟市総合計画」において豊かな水と共生するまちづくりと題して水環境と共生する都市づくりを目指している。とりわけ信濃川や阿賀野川、通船川、小阿賀野川で囲む「都心を囲む水とみどりの回廊」及びその周辺の整備を推進しており、近年では信濃川やすらぎ堤や阿賀野川ふれあい公園等が整備され、市民の憩いの場やイベント会場として有効に活用されている。今後、阿賀野川、通船川において未整備となっている水辺環境整備を進めることにより、「都心を囲む水とみどりの回廊」のネットワークを強化し、本市の財産である豊かな水辺を活用することにより、季節感と潤いのあるまちづくりを推進する。
新潟県	長岡市	信濃川	信濃川	蓮潟地区かわまちづくり	蓮潟地区は長岡市街地を背後に抱えており、日常からジョギング・散策等、健康増進の場として多くの人々に親しまれていること、毎年8月には長岡まつりのメインイベント大花火大会が河川敷で行われ約80万人の観光客が訪れること、「長岡市緑の基本計画」において緑化重点地区に指定されていること、背後地において医療・福祉・健康など各機能を併せ持ったまちづくりが進んでいることから、背後地と一体となった良好な水辺空間の形成を図る。

都道府県名	申請主体	水系名	河川名	計画名	計画の概要
富山県	砺波市	庄川	庄川	雄神地区かわまちづくり	当該箇所は、江戸期につくられた松川除堤防、庄川水記念公園やエドヒガンザクラ自生地などの自然・歴史資源、庄川温泉等、庄川の水や空間・自然を活かした観光資源や各種施設があることから、住民だけではなく多くの観光客等で賑わっている。これらの施設の中核をなす空間、施設として親水公園を整備し、地域住民とイベント参加者の交流の場として広く共有化し、更なる地域活性化に寄与する整備を行う。
石川県	金沢市	犀川 大野川	犀川 浅野川	金沢地区かわまちづくり	金沢地区かわまちづくりは、金沢市緑の基本計画等に基づき、犀川・浅野川で親水空間の整備を行う。また、犀川・浅野川は金沢のまちづくりの面でも重要な役割を担っており、地元団体のボランティア活動等により良好な環境が保たれ、親しまれている。金沢市内の水と緑のネットワークの一部となっている西部緑道等の整備と一体となり、新たにネットワークの主軸である浅野川において、管理用通路や河川広場の整備を行う。
岐阜県	多治見市	庄内川	土岐川	多治見地区かわまちづくり	多治見市では、第6次多治見市総合計画において、「街中の観光施設と駅や商店街を効果的につなぐため、水辺環境を活かして人が憩える交流の場を整備する」こととしている。この計画に基づき、多治見かわまちづくりは、土岐川において多治見駅周辺の整備事業に合わせて、市街地商店街と一体となった遊歩道等の整備を行う。
岐阜県	下呂市	木曾川	飛騨川	飛騨川下呂地区かわまちづくり	飛騨川下呂地区かわまちづくりは、2004年3月、4町1村の合併により誕生した下呂市において、合併時策定された「下呂市建設計画書」に基づき、これまでに整備された4箇所の河川敷内緑地公園（しらすぎ緑地）をつなぐ散策路整備を進め、潤いと安らぎのある親水空間を創出する。

都道府県名	申請主体	水系名	河川名	計画名	計画の概要
静岡県	磐田市	天竜川	天竜川	天竜川下流左岸地区かわまちづくり	天竜川下流左岸地区のかわまちづくりは、天竜川や太田川において磐田市の「都市計画マスタープラン」に基づいた親水空間の整備が行われ、地域住民による定期的な清掃活動やボランティア活動等により良好な環境を保ち親しまれている。近年の多様化する河川利用者のニーズの充足、及び「バイコロジー・マイタウン磐田」の推進を図るため、天竜川を活用した南北軸として位置づけられているサイクリングロードを整備することにより、かわとまちのネットワーク化を図る。
静岡県	静岡市	安倍川	安倍川	牛妻地区かわまちづくり	牛妻地区かわまちづくりは、安倍川の観光資源である「安倍ごころ」を起点とした、「寺社」、「生涯学習施設」「水辺の楽校」のネットワーク化を図り、更なる利用の促進と、静岡市のマスタープランに沿ったまちづくりとして、地元観光資源を利用した賑わいの回復を目指す。
愛知県	一宮市	木曾川	木曾川	一宮北部地区かわまちづくり	一宮北部地区かわまちづくりは、一宮市の「第6次一宮市総合計画」等に基づく木曾川河川敷公園整備事業にあわせて、遊歩道・自転車道の基盤整備を実施することにより、水辺プラザや点在する拠点遊歩道・自転車道で結び、木曾川に縦断的なネットワークを形成する。木曾川を散策する人々に快適な空間を提供するものであり、公園や歴史資産などを拠点として地域の活性化を図る。
愛知県	清須市	庄内川	庄内川	清須地区かわまちづくり	清須市では、清須市第1次総合計画において「市内を流れる庄内川・新川・五条川と市を特徴づける歴史的資源を活用し、歩行者がやすらぎを感じて歩くことができる歩行系の軸を確保し、地域文化向上の推進につなげる」としている。この計画に基づき、清須かわまちづくりは、庄内川において、新たに整備されたJR枇杷島駅を利用し「みずとびあ庄内」周辺を訪れる人の増加が見込まれるため、市街地や歴史的資源と一体となった遊歩道等の整備を行う。

都道府県名	申請主体	水系名	河川名	計画名	計画の概要
三重県	伊勢市	宮川	宮川・勢田川	伊勢地区かわまちづくり	伊勢地区かわまちづくりは、平成25年式年遷宮に向けて神事や行事が粛々と進む中、宮川水系全体をより親しみやすい環境に整えるため、水系全体を視野に「かわ」と「まち」が一体となった親水護岸等を実施する。またソフト支援により高水敷を利用したパーク＆ライドを進め、式年遷宮における渋滞緩和に寄与する。これらにより、伊勢市の歴史ある街並みの散策や既存の観光スポットの有効活用を促進する。
滋賀県	大津市	淀川	瀬田川	瀬田川かわまちづくり	大津市の南部を流れる瀬田川では、大津市の都市計画マスタープランに基づき、これまで瀬田川に沿った豊かな自然や石山寺、瀬田の唐橋、南郷温泉といった観光資源及び広域的なアクセスを積極的に活用したレクリエーションゾーンとして河川公園や案内サインなどの整備が行われ、定期的な清掃活動や地元団体によるボランティア活動等により良好な環境を保ち親しまれてきた。散策路整備はこれらの観光資源を活用し瀬田川に沿って展開する大津市南部地域の観光軸の強化と瀬田川沿いに連なる周遊空間を連続的に移動できるように整備する。また散策路整備に伴い環境護岸を整備し瀬田川の水辺環境の向上も行う。
大阪府	大阪市	淀川	道頓堀川、旧淀川（大川、堂島川、安治川）、神崎川、城北川	大阪市かわまちづくり	大阪市では、地域と連携し「水の都大阪」再生を目指しており、道頓堀川や旧淀川において、遊歩道や船着場等を整備するとともに、河川敷地占用許可準則の特例措置によりイベント等による河川敷の利活用を推進することで、川とまちが一体となった新たな水辺空間の創出を図っている。また、神崎川においては、防災船着場整備とあわせて、都市河川域における良好な水辺空間として、階段護岸工やスロープ等の整備を行い、カヌーやレガッタ観覧・祭りなどのイベントのできるオープンスペースとして利活用を促進する。さらに、城北川においては、治水対策とあわせて、川面を見ながら散策することのできる遊歩道や船着場など、より一層水に親しむことができる環境と調和した潤いある川づくりを目指すとともに、沿川住民と協働し、お祭りやイベント、コミュニティづくり、環境教育の場として利用できるよう利活用を促進する。

都道府県名	申請主体	水系名	河川名	計画名	計画の概要
大阪府	枚方市	淀川	天野川、穂谷川	枚方市かわまちづくり	枚方市かわまちづくりは、枚方市駅前周辺基本整備構想に位置づけられている天野川周辺整備の一環として実施されるものであり、市街地における憩いのスペースとして、また周辺まちづくりにおいて重要な役割を果たす回遊性を高める整備として必要である。その実施に当たっては、地域住民とのワークショップを開催し整備計画に反映させた魅力あふれる水辺空間の整備を行う。また、水辺における様々なイベントを地元商店会や自治会等と連携して行い、まちの賑わいを創出する。
大阪府	寝屋川市	淀川	寝屋川	寝屋川市かわまちづくり	寝屋川市かわまちづくりは、寝屋川再生プランに位置づけられた整備であり、地域団体や地元住民からの整備要望も高い事業である。また、近接事業によって廃止される都市計画公園の代替となる公園を河川敷内に整備するため、地域住民にとって魅力ある水辺空間の整備が可能であるとともに、整備後の維持管理、利活用についても地元住民と協働で行うことが可能である。
兵庫県	宍粟市	揖保川	揖保川	今宿・中広瀬地区かわまちづくり	今宿・中広瀬地区かわまちづくりは、宍粟市の都市計画マスタープランにおいて、「都市計画区域の整備方針として河川周辺の緑化や親水公園等の整備、および自然環境、景観に配慮した護岸改修などを図る」とあり、環境整備事業や下水道整備事業が実施されてきた。今後、揖保川のうち宍粟市内を流れる区域（今宿・中広瀬地区）において、河川改修と併せたアメニティ空間の創出を図り、一体的な整備により山崎地区の中心市街地活性化を進めると共に、親水性を活かした魅力的な水辺等環境空間の創出を図る。
和歌山県	新宮市	新宮川	熊野川 市田川	新宮地区かわまちづくり	新宮地区かわまちづくりは、新宮市中心部の熊野川に隣接、近接して散在している、世界遺産の熊野速玉大社や、公園として整備が進む新宮城跡、JR新宮駅とこれらをつなぐ都市計画道路の拡幅整備、そして国土交通省と連携して整備する池田港地区における川舟下りの寄港地にも使用可能な市民の憩いの空間となる環境護岸整備など、魅力ある新たな動線を整備する。

都道府県名	申請主体	水系名	河川名	計画名	計画の概要
和歌山県	橋本市	紀の川	紀の川	橋本地区かわまちづくり	橋本地区かわまちづくりにおいては、橋本市の都市計画マスタープランに基づき、歴史的な街並み・文化を活かした土地区画整理事業を実施している。一方で、沿川の紀の川は不統一な古い石積護岸があり、水辺へのアクセスが困難な状況となっている。土地区画整理事業と合わせて紀の川の護岸を一体的に整備することにより、まちとかわのネットワークを形成し、橋本市の市街地活性化並びに、歴史街道や観光名所・紀の川筋を巡る散策ルート（ウォーキングトレイル）利用推進も踏まえた親水性を活かした魅力的な水辺空間の創出を行う。
島根県	邑南町	江の川	出羽川	出羽川かわまちづくり	出羽川流域は市街地区間においても特別天然記念物オオサンショウウオが生息するなど、豊かな自然と人が共存している。この恵まれた環境を保護し、学習の場として有効に活用していく中で、ハンザケ（オオサンショウウオ）自然館や河川の整備を進めている。また清流を活かし、アユ釣り、ほたるまつり、灯篭流し等の河川利用は多く、商店街と自治会が連携し、植生の管理、清掃など良好な環境を保っている。商店街のある出羽地区では、各種イベントの開催により市街地の活性化を進めており、左岸の旧商店街と右岸の新商店街をつなぐ出羽橋周辺のオープンスペースの活用、川へのアクセス向上により賑わいの創出を図っていく。
広島県	広島市	太田川	旧太田川 元安川 京橋川 猿猴川	旧太田川・元安川地区及び京橋川・猿猴川地区かわまちづくり	広島市では、「水の都ひろしま」構想やひろしま都心ビジョンに基づき、旧太田川（本川）・元安川と隣接する球場跡地の活用や京橋川・猿猴川と市街地との一体的なまちづくりによる「水の都ひろしま」の推進や都心の活性化に取り組んでいる。今後、旧太田川（本川）・元安川地区では、球場跡地の活用と連携し、基町環境護岸への水辺のレストランの導入や道路により分断されている中央公園と基町環境護岸の一体的活用、水上交通の発着拠点である元安橋東詰広場と基町環境護岸とを結ぶ原爆ドーム前親水歩道の整備、底質改善の実施など、「水の都ひろしま」のシンボルとしての水辺づくりに取り組むこととしている。また、京橋川・猿猴川地区では、現行の「水辺のオープンカフェ」事業の継続実施及び拡充に取り組むこととしている。

都道府県名	申請主体	水系名	河川名	計画名	計画の概要
広島県	安芸太田町	太田川	太田川	とごうちかわまちづくり	太田川上殿地区については、安芸太田町が都市再生地域再生整備事業として上殿IC周辺整備事業、町道門田線駐車場整備事業、複合遊具整備事業が計画・実施されており、当該事業等の一体的な整備により、親水性を活かした魅力的な水辺等環境空間の創出を図ることができる。
徳島県	北島町	吉野川	今切川	今切川かわまちづくり	北島町百石須地区周辺は、『北島町都市計画マスタープラン』に基づき、旧吉野川にて地域活動や環境学習の拠点となる河川公園の整備が行われており、スポーツフィッシング等のレジャーや清掃活動等の河川空間利用が多い箇所である。新たに北島町が整備する「水辺交流プラザ」に併せ、親水護岸・遊歩道等の一体となった整備を行う。
徳島県	阿南市	那賀川	桑野川	桑野川かわまちづくり	桑野川のかわまちづくりは、阿南市のまちづくり計画と連携し、中心市街地の活性化及び各地区の活動を連携することで地域交流、世代交代の促進を図る。桑野川は、日頃より散策、釣り等で利用されているほか、各種イベント・観光・富岡高校生等の課外活動拠点として活用されている。活性化の急がれる浜の浦公園を優先的に整備し、さらに河川利用の盛んな横見地区との整備による連携で中心市街地（商店街）の活性化を図ると共に庁舎建て替え計画と併せた河川整備を進める。また、防災ステーションが整備される井関地区においては、阿南市のエネルギーパーク構想と合わせた水辺整備を行う。
徳島県	徳島市	吉野川	新町川 助任川	内町・新町地区かわまちづくり	内町・新町地区かわまちづくりは、徳島市の「ひょうたん島水と緑のネットワーク構想」に基づき、新町川と助任川に囲まれた「ひょうたん島」を重点整備地域として、水の魅力を最大限に生かしたまちづくりに取り組んできた。護岸修景・遊歩道や新たな船着場の整備を一体的に実施するとともに、地域資源であるLEDを活用した景観整備により、これまで整備してきた水の魅力に「光」の要素を新たに加えることで、他の都市にはない魅力をもった「水都・とくしま」を創造し、全国に発信する。

都道府県名	申請主体	水系名	河川名	計画名	計画の概要
愛媛県	大洲市	肱川	肱川	肱川かわまちづくり	<p>肱川は、大洲市の中心を流れる河川として、その自然豊かな河川環境を利用した、河原はいもたきや花火、水面はカヌーや鶴飼い等に利用され、周辺住民はもとより、県内外から訪れる人も多く広域的な利活用がなされている。また、平成20年1月策定「大洲市都市計画マスタープラン」においても、都市における貴重な自然環境として景観形成やレクリエーションにも資するため、多自然川づくりの推進、水質浄化、ビオトープの形成など河川環境の整備・保全に努めるほか、誰もが安全に利用でき、河川を身近に感じることのできる河川空間の整備を促進することとしている。肱川は、大洲市のまちづくりの中核となる存在であり、肱川の河川整備と大洲市のまちづくりと一体となって整備を行うことで、大洲市の地域振興を推進する。</p>
福岡県	福岡市	那珂川	那珂川 薬院新川 博多川	那珂川都心部地区かわまちづくり	<p>那珂川都心部地区かわまちづくりは、福岡市都市計画マスタープラン及び新・福岡都心構想に基づき、これまで那珂川や博多川で親水空間の整備が行われ、定期的な清掃活動や地域団体によるイベントが開催され、良好な環境を保ち、親しまれてきた。那珂川・薬院新川において河川敷占用許可準則の特例措置によりオープンカフェ社会実験を実施する。</p>
熊本県	球磨村	球磨川	球磨川	淋地区かわまちづくり	<p>球磨村は日本三大急流の球磨川が流れ、その急流を活かした舟下りやラフティングが盛んに行われている。また当地区では、球磨村が自然を活かした交流拠点を今後整備し、周辺にある鍾乳洞や温泉、神社などの観光資源と球磨川とをつなぎ、観光による活性化に取り組んでいくこととしている。船着き場を備えた親水護岸や散策路整備を行うことで、多くの魅力を持つ球磨川と自然を活かした交流拠点をつなぐハード整備の支援を行い、球磨村に新たなまちの賑わいを創出する。</p>

都道府県名	申請主体	水系名	河川名	計画名	計画の概要
熊本県	山鹿市	菊池川	菊池川	山鹿地区かわまちづくり	<p>菊池川中流部に位置する山鹿市は、国指定重要文化財の芝居小屋「八千代座」を中心に良質な温泉と歴史的町並みが残る「豊前街道」を軸として、地域住民と歴史・文化を生かしたまちづくりを進めている。一方、山鹿市の中心を流れる菊池川は、かつて県北の水運を支える物流軸として利用され、現在では花火大会やEポート大会など様々なイベント会場として利用されている。しかしながら、「豊前街道」を軸として進めているまちづくりにおいて菊池川に隣接しているものの、堤防によって人の流れが遮られている現状があり、菊池川という魅力ある河川空間をまちづくりに活かさきれていないという課題があった。平成18年に地域住民・まちづくりの専門家で構成する「山鹿・川とまちづくり推進協議会」を発足し、これまで協議会・作業部会を重ねる中で地域住民と連携し、川とまちづくりが一体となった河川整備を実施する。</p>
沖縄県	那覇市	安里川	久茂地川	旭橋地区かわまちづくり	<p>旭橋地区かわまちづくりは、那覇市中心市街地活性化基本計画に基づき、自然環境の保全と観光拠点の整備の両立を目指している旭橋地区再開発事業に合わせ、まちづくりと一体的にオープン広場や散策路、親水護岸、親水テラス等の整備を行う。</p>

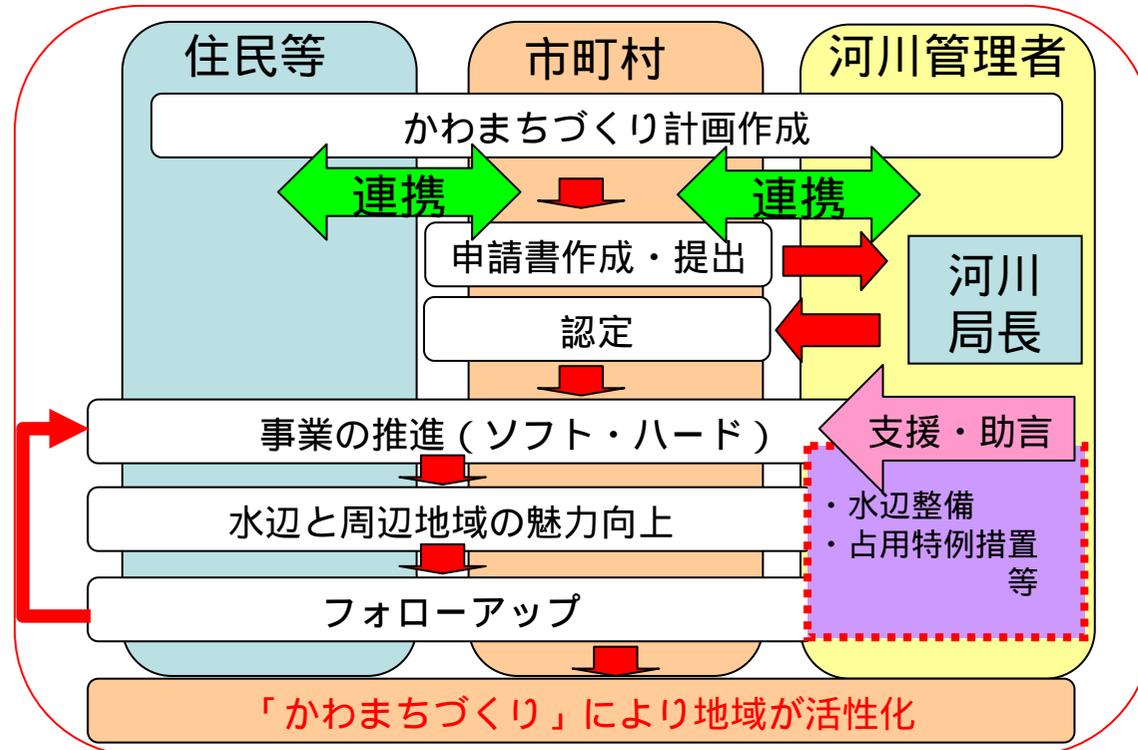
「かわまちづくり支援制度」の概要 ~ にぎわいある河畔空間の創出 ~

目的：観光などの活性化に繋がる景観・歴史・文化等の河川が有する地域の魅力という「資源」や地域の創意としての「知恵」を活かし、地方公共団体や地元住民との連携の下で立案された、実現性の高い河川や水辺の整備・利活用計画による、**良好なまちと水辺が融合した空間形成の円滑な推進**を図る。

ソフト面は民間事業者による河川敷のイベント広場やオープンカフェ等への利用制度(河川敷地占用許可準則の特例措置)等を拡充、河川管理者として「地域づくりのためのフォローアップ」を積極的に支援

ハード面はまちづくりと一体となった水辺整備を積極的に支援

河川を核とした地域活性化(最上川)



地域の創意としての「知恵」を活かした計画を対象
利活用方策が地域において明確となっているものを対象
施設の維持管理に地域の協力が得られるものを対象

イベント・オープンカフェ利用(道頓堀川)

にぎわいのある河畔空間の創出（参考）

大川 八軒家浜(大阪市)

水都大阪の再生「水の回廊」の取組みとして京阪中之島線の整備と併せ、人々が憩い・集う賑わいの場所を創出しています。

(写真提供:大阪府)



最上川(長井市)

フットパスにより川とまちの結びつきを強くし、桜の回廊等による川の核とした地域活性化が行われています。

(写真提供:東北地方整備局)



博多川(福岡市)

地域活性化のため地域が主体となって様々な取組(花嫁舟など)が行われています。

(写真提供:福岡市)



京橋川(広島市)

堤防天端において、オープンカフェの社会実験を実施しており、市民や観光客に喜ばれています。

(写真提供:広島市)



道頓堀川(大阪市)

とんぼりリバーウォーク(水上歩行デッキ)を利用して社会実験として様々な賑わいの創出の取組が展開されています。

(写真提供:大阪市)

